

平成 28 年 3 月 23 日

平成 28 年地価公示に関するコメント

住友不動産株式会社

代表取締役社長 仁島浩順

今回の地価調査では、三大都市圏で住宅地、商業地ともに3年連続の上昇となった。昨年に比べ上昇幅も拡大、東京都心部を中心に上昇基調を強めている。

企業業績の改善や個人消費の回復により、東京都心では、オフィスビルの賃料上昇が本格化、分譲マンションの販売価格は値上がり傾向が顕著となった。金融緩和による低金利環境が継続し、中古マンションや投資用不動産の売買市場も堅調に推移した。

一方、足元では、円高・株安基調に転じ、景気の先行き不透明感が強まっている。建設費の高止まり傾向が続くなど、不動産市況を取り巻く環境は依然として楽観できない情勢だ。政府には、アベノミクスを成功に導くべく、引き続き適時適切な経済対策の投入を期待したい。

以上